

この評価ソフトは、改正省エネルギーの経過措置が終了する2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE® 新築 [簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) |使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bel(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ジオ阪急洛西口ノースレジデンス	階数	地上2F
建設地	向日市寺戸町七ノ坪100番	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年3月31日
敷地面積	6,324 m ²	作成者	竹中工務店 大松
建築面積	1,721 m ²	確認日	
延床面積	3,399 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★ ☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺地域へ悪影響がないように外装にも配慮し、敷地内にはできる限りの緑化を計画した。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 特になし。	Q2 サービス性能 構造物、仕上材を痛めることなく更新、修繕ができる。
Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に合わせて外装材を選定し、できる限りの緑化を設けている。	Q3 室外環境(敷地外) 周辺環境に配慮し、適切な量の駐車スペースを確保している。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル ハロゲン化物消火剤を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される